

●開催校企画テーマセッション(80 分)

「人間行動と時間軸の関係性・分析方法」

研究成果報告形式

◎ 尾形 真実哉（甲南大学 経営学部 教授）

池田 浩（九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授）

江夏 幾多郎（神戸大学経済経営研究所 准教授）

稲水 伸行（東京大学大学院 経済学研究科 准教授）

[概要]

10 月 18 日(日)11:00～12:20 A 会場

本セッションでは、3 名の報告者による研究成果報告を中心に、時間軸を用いて組織の中の人間行動を捉えることの意義や分析方法について、心理学や組織行動論、HRM、方法論など、多様な観点から議論したいと思います。具体的には、報告者から「リーダーシップ行動を過去—現在—未来で捉えることでリーダーシップ開発にいかに関与できるか」、「人事評価や報酬が従業員の時間的展望にどのような影響を及ぼすのか」、「職場ビックデータを細かい時間軸(秒単位や日単位)で分析することのメリットと落とし穴」などについて報告してもらう予定です。これらの報告から、管理者—人事部—職場—研究者といった多様なレベルから時間軸を意識することの有意義性や注意点について理解することができると考えています。

[参加者へのメッセージ]

組織の中の人間行動を論じる際に、正面から「時間軸」を扱っている研究はそれほど多くはないと言えるでしょう。それゆえ、本セッションでは、多様な観点から「人間行動と時間軸」を中心に考えてみたいと思います。研究報告の内容が多様であり、統一的な結論に辿り着くのが不安もありますが、多様な観点から捉えることで、多くのアイデアや疑問が生じてくるものと考えております。さらに、研究成果報告に加え、参加者とのディスカッションにより、さらなるテーマ理解の促進につながることも期待しております。本セッションが、参加者の未来に有意義な役割を果たせるようなセッションにしたいと思います。是非ご参加下さい。